

犬の性格判断

犬たちは私たち人と同様にそれぞれ違った性格を持ち合わせています。そしてそれは一言で「こういう性格」と言い切ることができず、その場面や状況で表現の仕方は違います。下記の項目でご愛犬がどのくらいの明るさや臆病さなどがあるかを知り、「この場面では明るさが…この場面では臆病さが強く出ているのだな」という風にご愛犬の性格を理解してみてください。きっと愛犬のしつけ育成のお役に立てると思います。

ここではご愛犬の性格を、【明るさ】【デリケート】【臆病】【敏感】【神経質】、これら5つの度合いで表していきます。

【明るさ】はそのまま本来持って生まれた明るい性格のことです。

【デリケート】とは大きく浅くストレスを受けやすい感受性です。

【臆病】とは大きく深く受けたストレスを受け、さらに「怖い」という感情を起こすことです。【デリケート】に恐怖が加わると【臆病】になります。

【神経質】とは【敏感】に恐怖が加わった緊張状態です。 ※【臆病】【神経質】な性質の子はストレスがかかるとストレスの度合いにより、

【敏感】とは鋭いストレスに対しての反応のしやすさです。 心理は不安→緊張→恐怖という風に移行し、逃げるか攻撃的になるかの行動をとります。

明るさ



デリケート



臆病



神経質



敏感



▶ 飼い主さんがご愛犬に接したとき

慣れた環境で慣れた人と接するときにご愛犬の元々もって生まれた明るい性格で自己表現します。臆病や神経質といった性質は知らない人や犬に出会った時、または慣れない知らない場所などで怖いと自己表現します。

明るさの度合い

- | | | |
|----|--------------------------|-------------------------------|
| 強い | <input type="checkbox"/> | ⑤お尻ごと尻尾を振って興奮し、バタバタと動き回る、飛びつく |
| | ↑ | <input type="checkbox"/> |
| | | ④お尻ごと尻尾を振って興奮し飛びつく |
| | | <input type="checkbox"/> |
| | | ③尻尾を振って飛びついたり付きまとってくる |
| | ↓ | <input type="checkbox"/> |
| | | ②尻尾を振るがすぐに落ち着く |
| 弱い | <input type="checkbox"/> | ①尻尾を振らないが表情や仕草が嬉しそう |

▶ 知らない人との接した時の反応

ご愛犬が慣れてない人に接するとき、人に対する臆病さや神経質さをもった性格の子は怖いと自己表現します。また、「嬉しいけど少し怖い」のように入り混じった場合もあります。



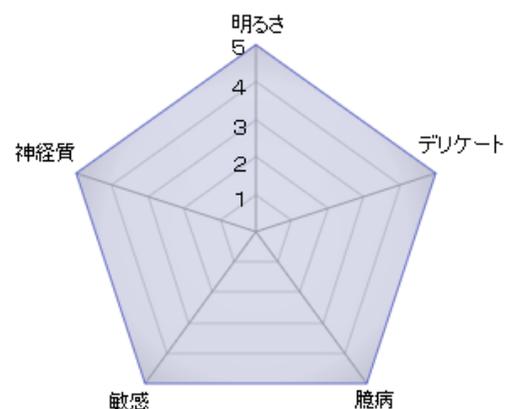
- 明るさの度合い
- 強い ⑤お尻ごと尻尾を振って興奮し、バタバタと動き回る、飛びつく
 ④お尻ごと尻尾を振って興奮し飛びつく
 ③尻尾を振って飛びついたり付きまう
 ②尻尾を振るがすぐに落ち着く
 弱い ①尻尾を振らないが表情や仕草が嬉しそう

- デリケートさの度合い
- 強い ⑤尻尾を下げて振っているが固まって動けない
 ④尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をし、オドオドする
 ③尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をする
 ②尻尾を下げて振りながら時間経過後自分から寄っていきける
 弱い ①尻尾を下げて振りながら自分から寄っていきける

- 臆病さの度合い
- 強い ⑤尻尾を股の下に置いてパニックを起こし逃げるような行動をする
 ④尻尾を股の下に置いて固まってしまう、伏せてしまう
 ③尻尾を股の下に置いてしまうがスキンシップができる
 ②尻尾を股の下に置いてしまうが恐る恐る近づいていきける
 弱い ①尻尾を股の下に置いて不安そう

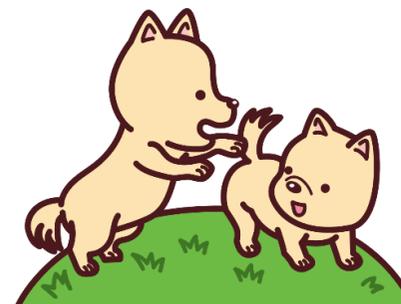
- 神経質さの度合い
- 強い ⑤距離をとって吠えて攻撃的、逆毛を立てる
 ④逆毛を立てて、触れると体がビクツとする
 ③逆毛は立てないが、触れると体がビクツとする
 ②触れると皮膚がビクツとする
 弱い ①尻尾をピンツと棒のように固くして上にあげる

- 敏感さの度合い
- 強い ⑤小さな音や気配にも驚きビクツと大きく反応する
 ④咳払いなど音がするとパッと見て反応する
 ③知らない人の動きや物音に対してパッと見て反応する
 ②多少のことには動じないが何となく意識を集中させている感じがする
 弱い ①あまり動じない



▶ 顔見知りのワンちゃんと接した時の反応

ご愛犬にとって人と犬という対象の違いで表現の仕方が変わることも多々あります。
人にはフレンドリーだけど犬は怖がる、またはその逆もありますので今一度よく観察してみてください。



明るさの度合い

- 強い ⑤お尻ごと尻尾を振って興奮し、バタバタと動き回る、飛びつく
 ④お尻ごと尻尾を振って興奮し飛びつく
 ③尻尾を振って飛びついたり付きまとう
 ②尻尾を振るがすぐに落ち着く
 弱い ①尻尾を振らないが表情や仕草が嬉しそう

デリケートさの度合い

- 強い ⑤尻尾を下げて振っているが固まって動けない
 ④尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をし、オドオドする
 ③尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をする
 ②尻尾を下げて振りながら時間経過後自分から寄っていきける
 弱い ①尻尾を下げて振りながら自分から寄っていきける

臆病さの度合い

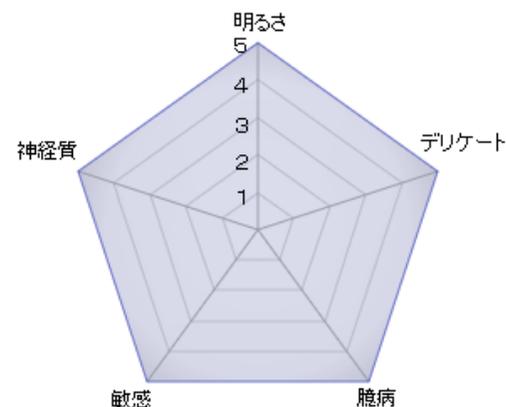
- 強い ⑤尻尾を股の下にいれてパニックを起こし逃げるような行動をする
 ④尻尾を股の下にいれて固まってしまう、伏せてしまう
 ③尻尾を股の下にいれてしまうがスキンシップができる
 ②尻尾を股の下にいれてしまうが恐る恐る近づいていきける
 弱い ①尻尾を股の下にいれて不安そう

神経質さの度合い

- 強い ⑤距離をとって吠えて攻撃的、逆毛を立てる
 ④逆毛を立てて、触れられると体がビクツとする
 ③逆毛は立てないが、触れられると体がビクツとする
 ②触れられると緊張した様子
 弱い ①尻尾をピンツと棒のように固くして上にあげる

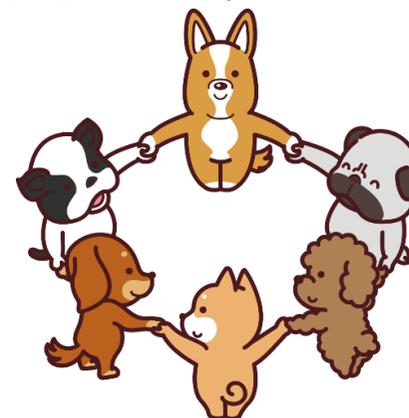
敏感さの度合い

- 強い ⑤小さな音や気配にも驚きビクツと大きく反応する
 ④穏やかに接せられてもビクツと反応する
 ③激しい動きの犬に対してビクツとする
 ②多少のことには動じないが何となく意識を集中させている感じがする
 弱い ①あまり動じない



▶ 初めて会うワンちゃんと接した時の反応

知らない人との接し方と同じですが、ご愛犬がどの心理状態でのいるのかを適切に知ることが大切です。



明るさの度合い

- 強い ⑤お尻ごと尻尾を振って興奮し、バタバタと動き回る、飛びつく
 ④お尻ごと尻尾を振って興奮し飛びつく
 ③尻尾を振って飛びついたり付きまとう
 ②尻尾を振るがすぐに落ち着く
 弱い ①尻尾を振らないが表情や仕草が嬉しそう

デリケートさの度合い

- 強い ⑤尻尾を下げて振っているが固まって動けない
 ④尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をし、オドオドする
 ③尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をする
 ②尻尾を下げて振りながら時間経過後自分から寄っていきける
 弱い ①尻尾を下げて振りながら自分から寄っていきける

臆病さの度合い

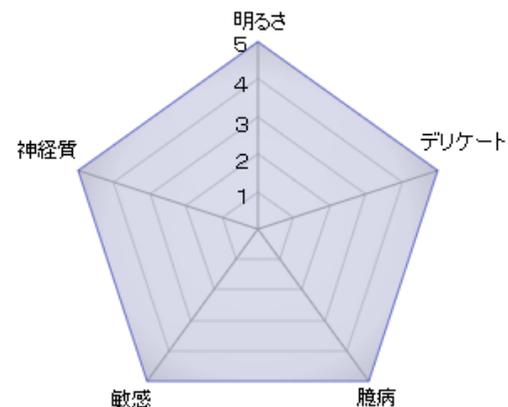
- 強い ⑤尻尾を股の下にいれてパニックを起こし逃げるような行動をする
 ④尻尾を股の下にいれて固まってしまう、伏せてしまう
 ③尻尾を股の下にいれてしまうがスキンシップができる
 ②尻尾を股の下にいれてしまうが恐る恐る近づいていきける
 弱い ①尻尾を股の下にいれて不安そう

神経質さの度合い

- 強い ⑤距離をとって吠えて攻撃的、逆毛を立てる
 ④逆毛を立てて、触れられると体がビクツとする
 ③逆毛は立てないが、触れられると体がビクツとする
 ②触れられると緊張した様子
 弱い ①尻尾をピンツと棒のように固くして上にあげる

敏感さの度合い

- 強い ⑤小さな音や気配にも驚きビクツと大きく反応する
 ④穏やかに接せられてもビクツと反応する
 ③激しい動きの犬に対してビクツとする
 ②多少のことには動じないが何となく意識を集中させている感じがする
 弱い ①あまり動じない



▶ 慣れない場所でお散歩時のご愛犬の様子

慣れない初めての場所というだけで大きく不安が発生する性格の子もいます。
環境の変化に動じないタイプなのか、大きくストレスを受けやすいタイプなのかを見極めます。



明るさの度合い

- 強い ⑤いつもと変わらずお尻ごと尻尾を振って興奮し、バタバタと動き回る
 ④いつもと変わらずお尻ごと尻尾を振って興奮しながら歩く
 ③尻尾を振って歩く
 ②尻尾を振るがすぐに落ち着く
 弱い ①尻尾を振らないが表情や仕草が嬉しそう

臆病さの度合い

- 強い ⑤尻尾を股の下に置いてパニックを起こし逃げるような行動をする
 ④尻尾を股の下に置いて固まって歩けない、伏せてしまう
 ③尻尾を股の下に置いてしまうが歩くことができる
 ②尻尾を股の下に置いて恐る恐る歩いていける
 弱い ①尻尾を股の下に置いて不安そうな表情をしながら歩く

デリケートさの度合い

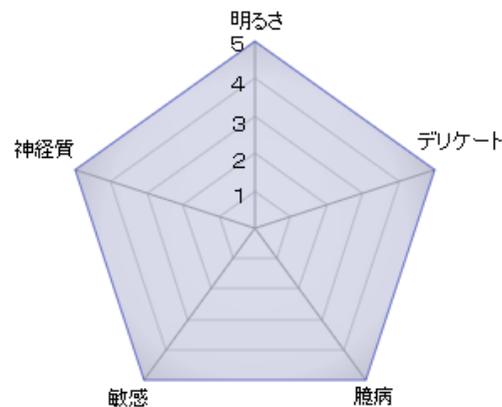
- 強い ⑤尻尾を下げて振るが固まって動けない
 ④尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をする
 ③尻尾を下げて振りながら不安そうな表情をし、オドオドする
 ②尻尾を下げて振り、時間が経てばいつも通り歩いていける
 弱い ①尻尾を下げながら振りいつも通り歩いていける

神経質さの度合い

- 強い ⑤逆毛を立てて全く歩けない
 ④逆毛を立てて歩くが音や気配に何度も立ち止まる
 ③逆毛を立てるが歩ける
 ②しばらく逆毛を立てるが歩ける
 弱い ①逆毛を立てるがすぐに収まり普通に歩ける

敏感さの度合い

- 強い ⑤小さな音や気配にも驚きビクッと大きく反応する
 ④咳払いなど音がするとパッと見て反応する
 ③知らない人、犬の動きや物音に対してパッと見て反応する
 ②多少のことには動じないが何となく緊張している感じがする
 弱い ①あまり動じない



音響シャイ

このほかに音に対して特別に怯える音響シャイな子があります。
音響シャイの場合は音に対して大変怖がります。そして平常時とは明らかに違うパニック状態になることもあります。

怖がる音の種類

雷の音
車の騒音
バイクの騒音
風船の割れる音
運動会の際のスタートのピストルの音
お祭りなどの開催を知らせる空砲
花火
爆発音 など

生まれつき音を極端に怖がる脳をしているため基本的には治らない子が多いです。
しかしそれほど強い音響シャイでなければ、
音＝大好きなおやつや大好きなおもちゃ
という条件反射付けをすることによって改善する子もいます。

怖かった音＝おやつやおもちゃといった嬉しい感情を条件づけるという訓練をくり返し行うとよいでしょう。

怖がった時の反応

ウロウロとどこかへ逃げるような動きをする
小さく縮こまる
パニックになってサークルやクレートを壊すほど暴れて逃げたり隠れようとする
ハアハアと呼吸が早くなり荒い息づかいになる
心拍数が上がる
震える など

